



平成 30 年度新入生宿泊研修(4/15~17 国立阿蘇青少年交流の家)が無事に終了しました。1 年生は、真新しい制服・体操服に大きな荷物、緊張した面持ちで参加しました。感想(抜粋)をご紹介します。

まず、玉名高校附属中学生の代表としての自覚を持って行動することを一番に思った。みんながえんりよして、前に進むことができなかったら、さきに進んでいくことができない。でも、ほとんど(私が見たかぎり)全力でやっていたので良かった。次にあいさつ。私は「おはようございます」、「こんにちは」、「こんばんは」だけで、あとは言葉として使われていると思った。「ありがとう」や「ごめんなさい」などもあいさつの仲間にはいると聞いて、最初はおどろいた。よく考えてみるとたしかにと納得した。だから、どこでもあいさつは使って言うので、先ばい方や先生方にも、この2泊3日の宿泊研修でこんなに変わって成長したんだぞ!! といってやりたい。次にリアクション。何かを言われた時に、掃除の時は無言だけど、他の時は返事をしていきたいと思う。(佐々木さん)



これから、6年間僕たちの歩みがスタートしていくなかで、先生がおっしゃられたように、「何のために勉強するのか」を常に追い求めていこうと思います。また、あいさつのでてっいなど、規律ある行動を心がけていこうと思います。「一年生は集団宿泊で良くなったな」という言葉がたくさんもらえてくれたら嬉しいので、そこも頭に入れながらがんばっていこうと思います。細かいところからコツコツとするのを、勉強も掃除もがんばっていこうと思います。そして、これから1A プライドをしっかりと守り、団結力を体育祭や普段の生活でもいかし、仲間におくれをとらないように、一生懸命がんばっていこうと思います。(大塚くん)

立体に絵をかくて平面に絵を完成させるという事をやりました。とても不思議だと思いました。今まで私は、平面のものに絵をかくて立体に見せるというものはたくさん見てきたけれど、今日のような平面の絵を見せるものは初めて見たのでとても新鮮でした。又、このような事を大きくやっていらっしゃる方が「フェリチェ・バリーニ」さんという方で、その方の作品をたくさん見たいと思います。

私が校長先生のお話で学んだ事は『見る視点を変えるだけで、他の世界が見えてくる』という事です。もし、自分が人生のがけっぶちにいたとしても視点を変えるだけでその場はお花畑のように、輝かしいものになるという事です。「夢実現、可能性への挑戦」、「可能性を可能性のままに終わらせない」この言葉通りに行動するには、「視点を変える」という事はとても大切なことだと思います。校長先生が今日のように長く熱くお話しして下さる事はもう無いと思うので、今日の話をしっかり心に刻んでおきたいと思いました。(研修1 [校長講話]感想 井田さん)



この研修が、中高6年間の出発点となりました。緊張感が、ある意味「覚悟」になってくれたと思います。今後の活躍と成長を期待しています。 2018. 4. 28 副校長 山部